

議題ア 各事業用地等機能配置の検討

- 事務局から市長の示す基本方針等について改めて説明
- 仙田委員長が検討委員会の大枠の方針として、市長の基本方針に則った形で進めていくことを委員に確認し、次回は具体的な全体の方向性をさらに議論することになった

【主な意見】

- ・ 小田原駅周辺は市民の交流と創造の場、小田原城周辺は回遊を促進する場という機能配置だが、小田原の玄関口は小田原駅であり、小田原駅こそ周遊の拠点である。
- ・ 財政面の検討も重要である。
- ・ 早期実現ということであるが、急ぐことはない。
- ・ 急ぐべきものとそうでないものを考える必要があるが、商業者の立場としては、小田原駅前を含めてこの周辺の商業は衰退しており、のんびりしてられない。
- ・ 大きな施設を造って集客しようということではなく、地道にやれることが他にあるのではないか。
- ・ 小田原駅・小田原城周辺の現状を見ると、何とかしないといけない。
- ・ グランドデザインと言うより、身近な言葉でこの地域をどうするか、具体的に議論を進めていかないといけないのではないか。
- ・ 3つの上にある、それらをつなぐような共通のコンセプトが必要ではないか。
- ・ 小田原の歴史的環境を尊重しながらまちの活性化を図ることが必要である。
- ・ 地下街は単なる商業施設ではなく、ビジターセンターの機能も必要ではないか。
- ・ 産業や市民交流、文化は別々のものではない。機能分担ではなく、一緒に解決できる可能性がある。
- ・ 小田原は人口が減少傾向にあるが、日本全体も減少傾向であり小田原に限ったことではない。今後人口が減ることを認識した上でまちづくりを行うなら、拡大ではなくコンパクトシティ、規模に合わせた「減築」の考えが重要である。
- ・ 人口の減少と高齢化という現状があり、また小田原は大きな商圈になるのは難しい環境にあるので、これからは住民、小田原を通過する人、観光客のお金を確実に獲得する必要がある。
- ・ 市民の交流と創造の拠点の場を駅前に持つことによって、その市民の活動から産業が生まれる。文化と商業は別のものではない。
- ・ 今こそ市民の交流から産業を生むというように発想を逆転させれば、強い小田原を作れると思う。

- ・まちづくりの方向性について、わかりやすいフィルター、ドメインが必要だと思う。
- ・ランドデザインは併行して考えていくべき。
- ・三の丸地区は回遊性の拠点のひとつであるが、駅前にも回遊の拠点が必要である。
- ・機能の再生に目を向ける必要がある。
- ・3つは別々ではなく、運営の仕方で機能融合できる。この委員会で3つの機能の性格をしっかりとつけて、4月以降動きやすいように方向性をだすことが大切である。
- ・新しくできるホールは大きな催し物があるときだけ人が来るというものにはしたくない。常に何かやっていて、情報発信できるものにしたい。
- ・「駅前に広場がない。」という意見を聞く。駅の横に大きめの広場があってもいい。
- ・将来の夢として考えるなら、いろいろなことができるが、早く作りたいなら財政に配慮が必要である。
- ・お城通り再開発と地下街の一部を商業的利用するということだが、これは我々だけでは判断できない。商業者は来てくれるかもしれないが、誰が出資するかという問題がある。
- ・現在の景気低迷は5年続くと考えている。理想としての整理と暫定の整理が必要ではないか。
- ・1つの答えを求めるとできる、できないという問題になるので、答えは2つは必要ではないか。
- ・小田原は交通機関のインフラが整っている。電車、バスで訪れた観光客の収入を得られる施設づくりを小田原城中心で考えて、それに付随して市民交流の場も作っていくという考えでいいと思う。どちらかだけ考えると偏ってしまうが、今回は両方を同時に検討できるので、うまく融合できるのではないか。
- ・小田原はインフラが整っているから、電車に来てそのまま歩けるまちづくりができる。
- ・小田原は小田原城をあまり重要視してこなかった面もある。歴史的環境を尊重するということは重要である。
- ・歴史的環境の尊重という考えにはとても共感できるが、もう少しわかりやすいコンセプトがあるとよい。
- ・不況だからこそ文化を使ってまちを元気にすることに投資するのも行政の役割ではないか。投資をして客を呼んで地域が潤うという図式にしないといけないのではないか。
- ・これからはゼネコンの開発ではなく、中身が重要である。どう魅力をつけるかを考えていきたい。
- ・回遊性ということを考えると、これまでの開発とは違う、少しミスマッチな組み合わせを考えたほうがいい。そういうことを新しい発想として受け入れると、議論がもっと深まるのではないか。

#### 議題イ その他

- 1月15日に小学生がミュージカルを市民会館で鑑賞するが、参加できる委員だけでいいので、これを一緒に鑑賞して勉強会をしたらよいのではないかという提案があった。  
→主催者に確認の上、事務局から連絡することとなった。
- 委員それぞれが3つの機能の上にかぶせるコンセプトを考えて、次回会議前にまとめるべきではないかという提案があった。  
→1月9日までに事務局に提出し、事務局がまとめたものを次回会議で議論することになった。